

製品名: AMPD2 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab06835**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% 新タイプ防腐剤 N を含む PBS 液。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:2000,ELISA 1:5000-1:10000
分子量	100kDa

抗原情報

遺伝子名	AMPD2
別名	AMPD2; AMP deaminase 2; AMP deaminase isoform L
遺伝子 ID	271.0
SwissProt ID	Q01433
免疫原	抗血清はヒト AMPD2 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 131-180

背景

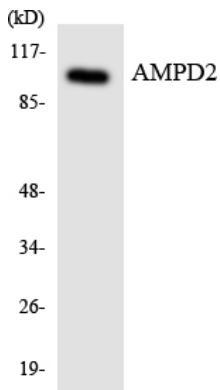
この遺伝子によってコードされるタンパク質は、AMP を IMP に変換することによりプリン代謝に重要です。コードされるタンパク質はホモテトラマーとして機能し、哺乳類に見られる 3 つの AMP デアミナーゼのうちの 1 つです。この遺伝子に対して、異なるアイソ

フォームをコードする複数の転写バリエーションが見つっています。[RefSeq 提供、2012 年 4 月],触媒活性:AMP + H₂O = IMP + NH₃.,機能:AMP デアミナーゼは、エネルギー代謝において重要な役割を果たします。経路:プリン代謝;サルベージ経路による IMP 生合成; AMP から IMP: ステップ 1/1.,類似性:アデノシンおよび AMP デアミナーゼ ファミリーに属します。サブユニット:ホモテトラマー.,組織特異性:哺乳類には 3 つのアイソフォームが存在します。AMP デアミナーゼ 1 は骨格筋で優勢な形態です AMP デアミナーゼ 2 は平滑筋、非筋組織、胎児の筋肉、未分化筋芽細胞に多く存在し、AMP デアミナーゼ 3 は赤血球に存在します。

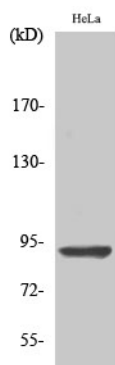
研究分野

プリン代謝;

画像データ



AMPD2 抗体を使用した HeLa 細胞の溶解物のウェスタン ブロット分析。



AMPD2 ポリクローナル抗体を用いた様々な細胞のウェスタンブロット解析